

平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【女子】1回戦 緑が丘スポーツ公園体育館 Dコート 第3試合

県立富士北稜 (山梨県)	76	}	21 - 11 16 - 13 26 - 19 13 - 13 -	56	桐生市立商業 (群馬県)
------------------------	-----------	---	---	-----------	------------------------

県立富士北稜

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	小佐野里菜	15	0	6	7	13	1	4	2	8	4	12	3	6	1	7
5*	羽田佳奈絵	23	2	2	8	18	1	5	4	6	3	9	0	3	5	0
6	柏木 春香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7*	遠藤 絢子	15	2	6	4	8	1	2	3	2	3	5	0	3	1	1
8*	小林 奈央	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0
9	小林こゆり	2	0	3	1	3	0	0	2	0	1	1	1	1	0	1
10*	舟久保沙耶	21	3	6	6	16	0	0	2	2	5	7	2	5	3	4
11	井出 菜月	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2
12	宮下 葉奈															
13	舟久保里咲															
14	田中 彩葵															
15	手塚ひなた															
16	渡辺 彩水															
17	荒井 彩花															
18	太田 侑希															
HC	望月 哲/TEAM									1	2	3				1
チーム		76	7	23	26	62	3	11	15	20	20	40	6	18	10	17

*スターティングメンバー

確率 30.4% 41.9% 27.3%

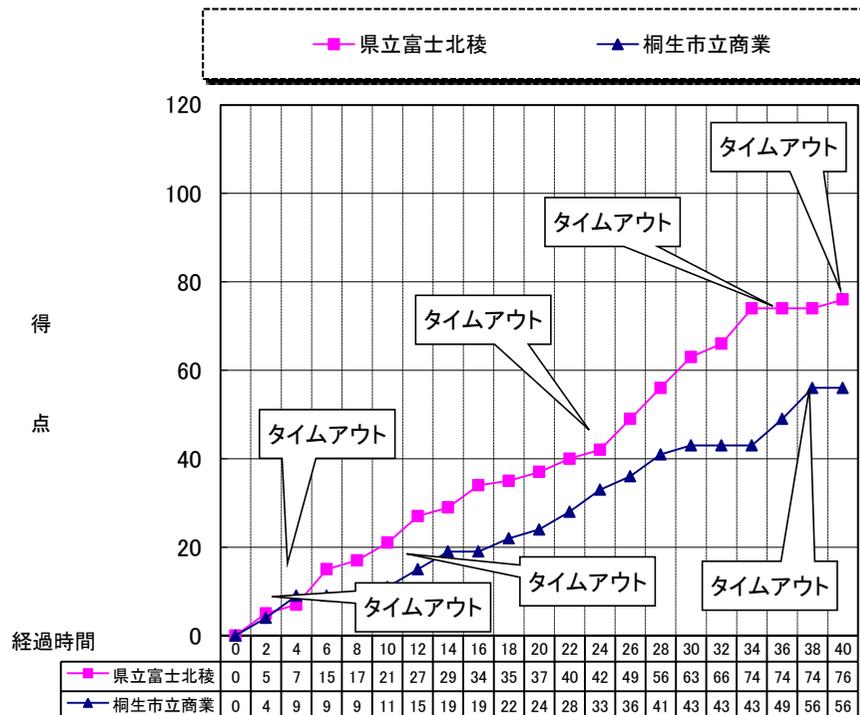
桐生市立商業

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4	内御堂詩歩	2	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
5*	鈴木 優	6	0	0	3	10	0	1	2	2	8	10	0	2	2	4
6*	高柳美佐里	20	0	3	5	11	10	10	3	1	9	10	4	1	0	5
7*	小林 千華	3	1	3	0	1	0	0	0	0	2	2	1	1	0	2
8*	砂川 華鈴	3	1	3	0	1	0	0	1	0	2	2	2	2	0	7
9	二渡 志帆	3	1	4	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
10	山口 優美	2	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
11*	飯泉 紗樹	13	1	5	5	10	0	0	0	3	7	10	3	2	0	9
12	加瀬奈々実															
13	横山 美月															
14	須田 美波															
15	金子ひかる	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2
16	押領司りな															
17	井田茉奈美	4	0	1	2	8	0	3	0	1	2	3	1	0	1	1
18	山口かりん	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC	西條 佑治/TEAM									0	7	7				0
チーム		56	4	20	16	48	12	16	10	8	39	47	11	9	3	31

*スターティングメンバー

確率 20.0% 33.3% 75.0%

2分毎による得点の推移



戦評

1Q両チームマンツーマンディフェンスでスタート。両チーム、速い攻撃から得点を重ねようと試みるが、富士北稜⑤羽田の3Pやゴール下のシュートで抜け出す。桐生商業も速攻やポストプレーを中心とした攻撃で応戦するも得点が伸びない。逆に富士北稜は、シュートイン後のマンツーマンディフェンスで相手のミスを誘い、点差を開き10点リードして1Qを終える。2Qに入っても富士北稜のテンポの良い攻撃は続く。桐生商業は速攻からの得点や⑨二渡の3Pで応戦する。富士北稜はリバウンドやルーズボールによく食らいつき、⑩舟久保の3P、④小佐野のインサイドなどで加点し、37-24で前半を終える。3Qに入り、桐生商業はディフェンスをオールコートプレスに変え、4分経過したところで⑧砂川・⑥高柳の3Pなどで6点差に縮める。しかし、富士北稜も⑤羽田3P、⑦遠藤のスティールからの得点などで3Q残り4分には点差をもとに戻し、さらに1年生⑩舟久保の3P2本や⑦遠藤の連続スティールからの得点で加点、63-43と点差を開いて3Qを終える。4Qも富士北稜は⑦遠藤の3P、⑤羽田の連続得点、⑩舟久保のドライブなどで着実に得点を重ねる。残り4分、桐生商業はオールコートプレスなどで食い下がるも、富士北稜⑦遠藤の安定した試合運びで崩れない。

1試合を通して富士北稜の積極的なディフェンスが印象に残り、点差は縮まることなく富士北稜20点差の勝利となった。

主審	橋本 美保子	第1副審	若林 謙作	第2副審	—	記入者	河西 寛之
----	--------	------	-------	------	---	-----	-------